



塙保己一没後 200 周年記念

不撓不屈の人



今から 200 年前、一人の人物がこの世を去りました。その人物の名は、塙保己一。彼はカメラやテープレコーダーなどない時代に日本全国に散らばる数多くの文献や書物を後世に残すため、その人生を捧げました。

保己一の生き方を知り、学ぶ一年に

改めて保己一を知る連載を始めます

塙保己一が生まれた江戸時代の日本国は、武士が治め、農民は農民として、町民は町民として、多くの人がその生涯を終えてゆく時代でした。そうした時代に農民の子として生まれた彼は、十五歳で江戸へ旅立ち、苦悩と挫折を経験しながらも、七十六歳の生涯を閉じるまで、国学という一つの学問を追求していきます。

今年、塙保己一が亡くなり二百年の年となります。今年一度、彼の「不撓不屈」の生き方を知り、残した功績を学ぶ必要があると考えました。市では、郷土の偉人としてだけではなく、人間塙保己一を一年を通じてお届けします。



保己一少年が江戸へ旅立つ姿を銅像にした「旅立ちの朝」(JR本庄早稲田駅北口広場)

延享三年(一七四六年)武蔵国児玉郡保木野村(現埼玉県本庄市児玉町保木野)に生まれた塙保己一は、七歳の時に病気のために失明し、十二歳の時に母親をも亡くします。彼は、さまざまな苦勞や困難に直面しながらも「群書類従」の編纂に人生をささげます。

広報ほんじょう5月号から塙保己一を改めて知る連載「塙保己一の生涯」がスタートします。

塙保己一没後二百周年記念事業・本庄市民総合大学公開講座

「塙保己一と渋沢栄一」全身全霊で生き抜いた二人の人生

本庄市民総合大学開講式と同時に開催です。申込不要。直接会場までお越しください。

日時 4月24日(土)

開講式 午後1時30分

講演 午後2時

会場 本庄市民文化会館

講師 齊藤 幸一 氏(公益

社団法人温故学会代表理

事)

費用 無料

定員 500名(先着順)

※混雑状況により入場制限を行う場合があります。

★生涯学習課 ☎22-3248、

☎25-1193、☒gakus

yu@city.honjo.lg.jp

業に焦点を絞った特別展が企画され、当会も栄一が創設に関わった文化団体・温故学会としていくつ所蔵の品々を出展いたしました。多くの方が来場され、保己一を知っていただく機会になることを願っています。

ヘレン・ケラーも栄一も保己一検校を敬愛していました。二人の偉人の志を受け継ぎ、これからも地元本庄市民の皆さま、顕彰会の皆さまと手を携えて塙保己一検校の顕彰事業に誠意をもって邁進していきたいと強く決意いたします。

塙保己一検校の没後 200 年に寄せて

公益社団法人 温故学会
代表理事 齊藤 幸一



かつて日本を訪れたヘレン・ケラーは「私は母から日本の塙保己一先生をお手本にしたい、と言われて育ちました。先生のお名前は流れる水のようにいつまでもいつまでも伝わることでしょ」と述べました。ヘレンの残した言葉のように、塙先生の没後200年を地元本庄市民の皆さまを始め、顕彰会の皆さまと共に祝いできることを心より嬉しく光栄に存じます。皆さまが塙保己一検校を「郷土の誇り」と、親愛の情をもって顕彰事業を推進されていることに日頃より深く敬意を感じております。塙保己

一記念館はモダンなたたずまいで見えて触れて体感できる工夫がされています。本庄早稲田駅に大志を抱いて出立する少年保己一の像も建立されました。埼玉県のご理解ご支援も目覚ましく、県立の盲学校を塙保己一学園と改称され、塙保己一賞では年々業績のある多くの皆さまを発掘されています。先生を尊敬する周囲の人々の地道で献身的なご努力により先生のお名前はますます長く伝わるものと確信いたしました。

『群書類従』版木を保管しております当会も皆さまに負けぬよう、参観者へのご説明などに真心をもって接しております。参観者の方々は、盲人である保己一が学問で身をたてようとしたこと、世のため後のため、と版木を残したこと、その版木が時代の波にもまれ、天災、人災に遭いながらも一枚も欠けることなく刷りたてのできる状態で保存

されていることに一様に驚かれます。説明をしている私たちもそのたびに改めて残された版木がとても貴重なものであることを認識し、保存の道筋をたててくださった先人の方々に感謝と敬意を感じます。版木保存の道筋をたててくださった先人の一人が、埼玉三偉人の一人でもある渋沢栄一であることは折に触れ各所でお話しておりますが、栄一は塙保己一検校没後200年の記念すべき年に大河ドラマの主人公になりました。3月から埼玉県立歴史と民俗の博物館で栄一関わった文化事



公益社団法人 温故学会

▶東京都渋谷区2-9-1 (JR渋谷駅より都営バス「日赤医療センター行」に乗車し「國學院大學前」下車後徒歩200m)

明治42年に塙保己一の偉業顕彰の目的から設立され、『群書類従』版木の保管、盲人福祉事業、各種啓発事業を行う。

不撓不屈の人